

令和 3 年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
地域ワークショップ

日 時：令和 4 年 1 月 31 日（月） 15 時 00 分～16 時 30 分

開催方法：オンライン形式（Zoom）

参加者数：29 名

概 要：

15:00～ 主催者あいさつ

愛媛県観光スポーツ文化スポーツ局地域スポーツ課オリパラ推進室室長 武智 公博

15:03～ オリパラ教育事例発表

鬼北町立好藤小学校教諭 増田 典嗣
愛媛県立今治北高等学校教諭 川尻 雄洋

15:30～ 講演①

オリンピック（陸上競技） 土佐 礼子

15:50～ 講演②

愛媛大学教育学部副学部長 日野 克博

16:20～ 講評

筑波大学特命教授 真田 久

内容詳細：

● 主催者あいさつ

愛媛県観光スポーツ文化スポーツ局地域スポーツ課オリパラ推進室室長武智氏より
開会挨拶があった。

● オリパラ教育事例発表

2 校の推進校より、今年度のオリパラ教育の実践報告がなされた。年間を通したオリ
パラ教育の取組を学習発表会で紹介する実践や JICA 四国および FC 今治と協力して生
徒の国際的な視野を育む取組などについて紹介された。

● 講演①

オリンピック（陸上競技：2004 年アテネ大会、2008 年北京大会の 2 大会連続出
場）である土佐氏による講演が行われた。土佐氏は県内の多くの幼稚園や小学校で講
演しており、その際に子どもたちに伝えている内容について紹介された。講演を通し
て、自らの競技人生から学んだ「他人と比較するのではなく自分の長所を伸ばしてい
くこと」や「あきらめないことの大切さ」などを、子どもたちに伝えることができた

と述べられた。

- 講演②

愛媛大学教育学部副学長日野氏により、愛媛県におけるオリパラ教育の取組について講演が行われた。これまでの愛媛県におけるオリパラ教育の取組を振り返り、今後どのようにオリパラ教育を展開していくかについて第3期スポーツ基本計画も含めて説明された。東京2020大会終了をオリパラ教育のスタートとして、この4年間で蓄積された多くの実践や現在作成中である「実践マニュアル」などをもとに、オリパラ教育の継承への期待が述べられた。

- 講評

筑波大学特命教授真田氏より、本事業への4年間にわたる協力について担当全国中核拠点として感謝を述べた。その後、本ワークショップにおける講評を行った。



写真1. オンライン会議の様子



写真2. 講評